

# 長岡市長記者会見要旨

日 時：令和 8 年 2 月 16 日（月）午後 1 時 00 分から

会 場：アオーレ長岡 東棟 4 階 大会議室

【 会見項目 1：新しい 10 年に向けて「変わるれ！長岡」  
「長岡市総合計画」案がまとまりました 】

## <市長>

4 月から始める新しい総合計画案がまとまりました。令和 6 年 5 月から、有識者や公募市民の委員会で多くの議論をいただき、市民アンケートやワークショップ、パブリックコメントの意見も反映しています。

3 月議会で審議し、年度末に策定、4 月から新しい 10 年の方向性を示す計画がスタートします。計画を作って終わりにしないよう、131 の KPI を設定し、毎年進捗を評価します。詳細は資料や市ホームページに掲載しています。

【 会見項目 2：市政施行 120 周年を全市で祝う  
ロゴマークが決定！利用者募集を開始します 】

## <市長>

4 月に市制施行 120 周年を迎えるにあたり、記念ロゴを制作しました。長岡造形大学の学生・小林南さんのデザインで、「米百俵の俵」をモチーフに、精神を未来へ受け継ぐ思いが込められています。

ロゴは市民・事業者の皆さまに無料で使っていただけるようにし、手続きも簡素化しました。さまざまな用途向けのバリエーションもあります。

120 周年事業として、多くのイベントに冠とロゴを付けて行い、今後も追加していきます。市民の皆さまとともに、節目を盛り上げていきたいと考えています。

## <記者>

総合計画については、さまざまなご議論を経て案が固まり、その中で 131 項目の KPI、いわゆる目標や評価指標を定めました。かなり高い目標もありますが、これから PDCA を回しながら達成を目指していくことになると思います。それに向けての市長としての思いや意気込みをお聞かせください。

## <市長>

総合目標というのは、どうしても精神的とか観念的になりがちなのですが、KPI をきちんと付けることで、数値としての目標やゴールを行政や市民の皆さんと共有でき、実効性の高い計画にできると思っています。それから、今回つくった KPI も、社会情勢によっては見直しが必要になることもあるだろう、と考えています。

## 【 会見項目 3：令和 8 年度長岡市当初予算（案）について 】

## <市長>

令和 8 年度当初予算案の骨子がまとまりました。国際情勢や経済が見通せない中、本市でも人口減少や物価高騰など厳しい状況にあります。今年は市制 120 周年、新総合計画のスタートの年でもあり、「米百俵の精神」と「市民協働」に立ち返り、次の 10 年の起点となる予算としました。

一般会計は 1,424 億 600 万円で前年度比 2.0%減ですが、生活インフラの維持修繕などは平年より高い水準を確保しています。国の補正を活用して、学校改修や道路整備などを前倒しし、切れ目のない対策を進めています。

一般会計の補正予算と、当初予算を合わせた普通建設事業費の総額は 224 億 8 千万円となっています。

重点施策ですが、新たな総合計画に掲げる 6 つの基本目標ごとに整理しました。

1 番目は、「誰にも優しく寄り添う共生社会のまち」です。

コミュニティ推進組織による地域課題解決に向けた活動に支援するほか、女性活躍の取り組みとして女子中高生向けのセミナーやシンポジウムを行います。

また、避難行動要支援者の個別避難計画づくりを町内会などと一緒に伴走支援するほか、引きこもり状態の方が再び社会につながるように支援体制を強化します。中越圏域の救急・周産期医療を支えるため、市内の基幹 3 病院への支援もさらに強化します。

2 番目は、「子ども・若者が夢や希望をもち、誰もが学び続けることができるまち」です。

ミライエ長岡 東館のフルオープンに合わせてイベントを行い、中高生専用スペースを新設します。新しい地球広場もオープンします。不登校児童生徒のため、校内支援員を増やし、教室に通うことが難しい子どもたちのための居場所も拡充します。

地域クラブ活動の参加費を負担軽減し、指導者の全国大会引率費も支援します。不妊治療に加え、不育治療の助成を開始し、産後ケアも充実させて、お母さんに寄り添った支援を強めます。さらに、中学生の冬季通学費の新たな助成で、安全確保と保護者の負担軽減を図ります。

3 番目は「災害や雪に強く、暮らしやすい安全安心なまち」です。

災害時の孤立集落に配備している衛星携帯電話などの更新を進め、地域防災計画を改定し、全市民へリーフレットを配布して周知します。

長岡モデルの雪国太陽光を普及させ、鳥獣被害対策も拡大します。特別豪雪地帯として初めて、自動運転の社会実装に向けた検討に着手します。支所地域には課題解決型の集落支援員を配置します。

川口地域交流拠点施設（仮称）に着工し、長岡西大積スマート IC 関連道路など、基幹道路整備を進め、市内 6 カ所目の IC 開通に向けて機運を高めていきます。

4 番目は、「産業が成長し活力を創出するまち」です。

ミライエ長岡の産学協創センターを核に「産学協創チャレンジ補助金」を創設します。また、イノベーション加速化補助金では特別枠を設け、成長を目指す企業の投資を後押しします。再開発事業や地域未来投資促進法を活用した企業誘致を進め、地球広場の機能を強化し、外国人向け日本語講座も開催します。さらに、次世代のモデルとなる農業経営体を伴走型で育成します。

5 番目は、「にぎわいや交流が生まれる魅力あるまち」です。

長岡戦災資料館の開館に合わせて、セレモニーや記念講演会を開催します。また、市外の学生へ情報発信を行い、長岡への愛着を育み、U ターンや定着につなげます。河井継之助生誕 200 年、良寛と貞心尼の出会い 200 年の記念事業を行い、道の駅 R290 とちお・おりなすの再整備、観光地域づくりの核となる DMO 設立に向けた準備も進めます。スポーツ施設では長岡ニュータウン運動公園野球場などの整備を行います。

6 番目は、「市民の期待に応え、信頼される行政を推進するまち」です。

AI を活用する人材育成を進め、市営駐車場と自転車駐車場の包括管理のあり方を検討します。人口構造などの変化に合わせ、「第 2 期 持続可能な行財政運営プラン」を策定し、行財政の再構築を進めます。

さらに、未来の長岡を担う若者とのネクスト長岡座談会を行い、120 周年記念事業としてイベントを一体的に発信していきます。また、全市民へ 1 万円分の応援商品券を 4 月に配布し、物価高騰対策として小学校給食費の保護者負担相当額の支援も行います。

## <記者>

今回の予算編成の全体的な考え方ですが、市長にとっては 3 期目の 2 年目で、長岡市としても市制施行 120 周年と新しい総合計画への切り替わりの年になります。限られた予算の中で選択と集中が求められると思いますが、「変わるれ！長岡」に込めた思いと、今回の予算編成の基本的な考え方を改めてお聞かせいただけますでしょうか。

## <市長>

最初の市長選に出るとき、長岡版イノベーションを公約に掲げてきましたし、その後の市政でもイノベーションを一つの軸に進めてきました。変化させていこうという思いが、「変わるれ！」というメッセージに込められています。

そして、市制施行 120 周年と新しい総合計画のスタートに、この「変わるれ！」という言葉に市民委員の皆さんの強い思いが込められました。今年から長岡の新しいステージが始まるという意味で、私としても新鮮な気持ちで、令和 8 年度予算の編成と執行にしっかり取り組んでいきたいと考えています。

#### <記者>

具体的な政策の中で、市長として特に肝煎りのもの、思い入れの深いものがあれば教えてくださいいただけますでしょうか。

#### <市長>

個別の政策の詳しい内容は部課長から説明しますが、私としては「変わるれ！」の言葉どおり、新しいものをできるだけ動かしていきたいという強い思いがあります。産業政策では、新しい産業団地や企業誘致に向けた予算、長岡西大積スマートインターチェンジの開設に向けた整備などを入れています。

子育て支援も、これまでの取り組みを続けながら、不登校や不育といった新たな課題にも幅広く対応していきたいと思っています。担当の思いも受け、そうした新しい項目を各柱に盛り込みました。

また、今年が新しい 10 年のスタートになるよう、11 月にはミライエ東館がフルオープンし、産業振興の拠点にもなります。国際交流や子どもの学びの場など、ソフト事業も動き出しますので、それぞれがしっかり進むよう、この一年、職員と力を合わせて頑張っていきたいと思っています。

#### <記者>

一方で、行財政改革の第 2 期プランがスタートし、経費の削減も進める中での予算編成になったと思います。ブレーキとアクセルをどう使い分けるのか、ということになると思いますが、行財政推進プランを着実に履行しながらも、「ここはアクセルを踏んだぞ」というところは何か挙げられますか。

#### <市長>

長岡の将来を考えると、まず産業をどう発展させるかが大きなポイントになります。もう一つは、教育を含めた子育て支援・若者支援をしっかりと進めていくことです。

さらに、人口減少や過疎化で地域力が弱くなっているところも見えてきており、川口の交流拠点施設の着工や「いこいね☆よいた」の完成など、支所地域の中心となる施設を整えながら、地域の活力を保つコミュニティ施策にも力を入れていく必要があります。

一方、行財政運営プランの観点では、人口減少に合わせて縮小すべきものは早く見直していかなければなりません。情勢の変化に応じて、何が本当に必要かをゼロベースで検討することが求められています。

もちろん、市民の皆さんの理解を得ながら進めることが大前提ですが、見直しのスピードはできるだけ早めていきたいと考えています。

#### <記者>

今回の重点施策を見ても「中核市」が出てきませんが、中核市への移行をするのかしないのか、その判断が今どういう状況なのか、また予算ではどのように扱っているのか教えていただけますでしょうか。

#### <市長>

中核市の検討は、今の感触としては、移行に伴う人員や経費の増加が課題で、特に保健所の改築・新築が必須になります。ただ、物価や建設費が高騰する中で、どれくらいコストがかかるのか明確にできていません。

経済状況を見極めながら、今後5年ほどで長岡市の財政基盤を固めることが先だと考えており、今回は判断を保留にしたいと思っています。

やる、やらないを今決めるのではなく、財政状況を見ながら将来的に判断したいと考えています。

### 【 会見項目4：令和8年4月1日付け組織変更（案）について 】

#### <市長>

社会の変化が大きい中で新たな行政課題に対応するため、組織を一部改正します。主なものとして、人口減少対策を強化するため政策企画課に「定住促進室」を設置し、移住定住相談センターの業務を移管します。

また、地域振興とコミュニティ政策を一体的に進めるため、地域振興戦略部と市民協働課のコミュニティ推進係を統合して「地域政策部」に改称し、担当課長を二名配置します。

公共施設の適正化を進めるため「財産管理部」を新設し、財産の利活用を担う担当課長を置きます。

観光分野では観光企画課と観光事業課を統合して「観光課」を設置し、「観光推進機構準備室」を設けDMO設立の準備を加速します。

DX推進部は班体制へ移行し、総務部ではコンプライアンス課を庶務課へ統合して「総務課」に改称します。

鳥獣被害対策課は常設化し、道路部門の再編も行います。その他、名称変更や班体制への移行など、効率化のための見直しを行います。

この他の項目の内容は、新たな行政課題への対応、組織の名称変更、系の枠を超えた班体制の導入など、業務を効果的、効率的に進めるための改正です。

その他の見直しの詳細は、別紙の機構図をご覧ください。

#### 【その他の質問】

##### <記者>

先日、花角知事が近く 3 選に出馬する意向を正式に表明されるという報道がありました。この間、原発再稼働など県政でもいろいろな動きがありましたが、市長として、花角知事の 3 選出馬についてどのように受け止めているのか、また県政をどう評価しているのか、お聞かせいただけますでしょうか。

##### <市長>

まだ直接、花角知事から伺ったわけではありませんが、3 選出馬されるだろうという見方が多かったので、特に驚きも意外性もなく、やはり出られるのだろうと受け止めています。

##### <記者>

中心市街地の再開発における予算の関係ですが、ミライエが完成し、今まで長くやってきたことが、ひと区切りになると思います。

中心市街地の主要事業一覧のところを見ますと、今後民間主導という言葉もあり、中心市街地の再開発が次のフェーズに入っていくという印象を受け取りました。

市として、今後の中心市街地への関わり方や考え方があったらお聞かせください。

##### <市長>

おっしゃるとおり、市が大きく関わって床を取得するような再開発はこれで一区切りとなり、これからは民間開発やビルの建て替えなど、新しい段階に入っていきます。

例えば、ミライエ長岡の隣の UR が底地を持つ市民センターの再開発も含め、民間の新しい動きを促しつつ、公共性の高いものには再開発補助金で支援していく形になると思います。

市としての床取得は一旦終わりですが、中心市街地全体が長岡の発展にどうつながるかを見ながら、必要に応じて提案やアドバイスをし、できるだけ早く新しい動きが出るよう促していきたいと考えています。

##### <記者>

柏崎刈羽原発についてですが、再稼働直後にトラブルがあり運転を止めていた 6 号機が、9 日に再起動しました。

不具合が続いたことや営業運転の遅れもありますが、市長として、東京電力に改めて求めたいことがあればお聞かせください。

### <市長>

柏崎刈羽原発は長い停止期間を経ての再稼働で、現場も把握していない不具合が今後も出る可能性が高いということを、今回の一連の動きで東電も認識したと思いますし、地元としても大きな懸念を感じています。

また、今回の豪雪で、本当に避難ができるのかという問題が改めて浮き彫りになりました。

避難計画や避難そのものは自治体の課題ですので、避難道路の整備など必要な環境づくりを、できるだけ早く関係者に進めてもらい、実効性のある避難ができる体制にしてほしいと思っています。長岡市としても、そこはしっかり訴えていきたいと考えています。